

「つなぐ」に属する施策の事前評価・意見

基本政策：次世代につなぐ

No	施策名	評価	意見
1-1	子ども・子育て支援の充実	A	多くの項目において、目標値を上回っており、A評価とした。 子ども・子育て支援の充実は、魅力ある都市をつくる大きな要因となるものである。待機児童の削減、認定こども園の整備などについて一層の努力を求めめる。
		A	各重点事業について、ほぼ予定通りの進捗状況であるためA評価としている。 それぞれの事業について、周知の徹底により、より効果が上がると思われるので、広報にも注力してほしい。
1-2	学校教育の充実	A	徳島市立幼稚園の再編以外の重点事業については、わずかに目標に届いていないが、継続することにより目標を達成できるものと考えA評価とした。 幼稚園の再編については、園児ごとに細かなケアが必要となるので、慎重に事業を継続してほしい。
		B	目標値を達成していない項目がいくつか見られるところからB評価とした。 全国平均を大きく下回る事業などもあり、一層の事業展開を期待したい。学校教育の充実の魅力ある市をつくるうえでも極めて重要なものであり、各事業がそれぞれの課題をさらに遂行していくことが、必要である。
1-3	教育環境の向上	B	未着手の事業もあり判定に窮するがひとまずB評価としておく。 空調設備、洋式トイレ等は多くの家庭で普及しており、学校現場においても早急に整備されることを望む。
		C	ほとんど未着手のためC評価とした。 最近の夏場の気温等を考えると、空調設備の整備、また、衛生環境の改善は速やかに進めてほしい。
1-4	青少年の健全育成	A	各重点事業について、ほぼ予定通りの進捗状況のためA評価とした。 不登校児童数の把握だけでなく、その理由等も把握したうえで、教育現場に反映できるようにしてほしい。
		B	一部に目標値を下回っている点などからB評価とした。 不登校をめぐっては、学校や保護者の事業の理解、周知が必要であり、今後も継続して事業を展開して欲しい。

基本政策：社会をつなぐ

No	施策名	評価	意見
2-1	健康づくりの推進	A	がん検診事業を除き、予定通りの進捗状況のためA評価とした。 がん検診事業についても、市民が各自で受診している場合もあるので目標値にこだわる必要はないと感じる。ただし、受診の必要性については啓発していくべき。
		B	肺がん、大腸がんの検診率が目標値に達していないなどの点からB評価とした。 ただ、ほかの相談・啓発事業など成果を上げている事業もあり、がん検診率の向上に期待したい。
2-2	地域福祉の充実	B	目標達成ができていない項目がいくつかあり、B評価とした。 各種催しや活動を通じて、地域福祉の充実を図ることは、暮らしを守るうえでも重要なことであり、充実に努めてほしい。
		B	概ね順調に推移しているのでB評価とした。 ただし、活動に参加している一部の市民にしか知られていないという状況にならないようにHP等での福祉情報を充実させてほしい。
2-3	高齢者福祉の充実	B	高齢者福祉の充実は、喫緊の課題であり、さらなる充実が望まれる事業である。いくつかの事業において目標値を下回っていることからB評価とした。
		B	進捗状況及び成果指標の状況ともにまずまずの状況のためB評価とした。 重点事業についても、高齢者の必要な支援の程度によって受けられる多様なサービスがあると感じられる。
2-4	障害者福祉の充実	B	いくつかの項目において目標値を達成できておらず、B評価とした。 障がい者の福祉については、相談事業はもとより地域や事業所の協力なしには実現しにくい。理解の促進のため啓発事業等への参加者増などに努めてほしい。
		B	進捗状況及び成果指標の状況ともにまずまずであるのでB評価とした。 障害者への支援は重要だが、障害者以外の人への啓発活動も重要と思うので障害者福祉等啓発事業には頑張ってもらいたい。
2-5	社会保障の充実	A	多くの事業において目標値を達成しており、事業の効果はそれなりに評価できるためA評価とした。 引き続き効果的、適切な事業展開を進めてほしい。
		A	順調な進捗状況なのでA評価とした。 生活困窮者自立支援事業については、事業の周知及び生活困窮者の実態の把握が重要と考えられる。積極的にアンケート等を行ってほしい。

基本政策：心をつなぐ

No	施策名	評価	意見
3-1	人権尊重・多文化共生社会の実現	B	人権尊重、多文化共生は、社会の基本であり、啓発・周知等の事業は極めて重要な事業であるが、一部事業において目標値を下回る事業などがあり、B評価とした。
		B	進捗状況及び成果指標ともにまずまずなのでB評価とした。 継続することによって、目標値が達成できると考えられるので、このまま継続してほしい。
3-2	男女共同参画社会の実現	B	相談件数の増加が成果の上昇とはいえない面があるが、女性センターの相談業務の認知度の上昇等がみられ、B評価とした。 男女共同参画社会の実現は、これからの社会の重要な課題であり、一層の事業展開が望まれる。
		B	進捗状況はまだまだだが、成果指標の状況が良いため、B評価とした。 施策の推進のためには男性の家庭内での役割が大きくなると考えられるので、男性のためのいきいき家庭講座のような事業を増やすか充実させてほしい。